

瀬戸内タウンミーティング（玉津地区）

平成 22 年 10 月 28 日（木）19 時～21 時

玉津コミュニティセンター

参加者：男性 18 人、女性 6 人、計 24 人

市民から出た意見と市長の回答

・大土井から玉津コミュニティにかけての道路の防犯灯が 14 灯切れている。水銀灯やスポンサー灯も切れている。誰がどのような管理をしているのか。
（市長）県道については県が管理と思う。スポンサー灯については当該企業が管理しているが、撤退している場合がある。現在ある防犯灯の球交換は行っているが、暗い道を明るくするための防犯灯の設置について、計画が無い。計画を立ててやっていきたい。また来年度から中国電力が防犯灯の球交換の業務を行わないとのことであるが、対応について市で検討をしている。

・市の国民健康保険税の水準は他の自治体と比べてどうなのか。また国民健康保険税を下げるための予防等の取り組みについてどう考えているのか。
（市長）瀬戸内市は県内でも高い水準にある。下げるどころかまだ上げなくてはいけないという議論もある。今後、国民健康保険税を上げないためにも一般会計からの繰り入れをしなくてはならないかもしれない。また、予防の取り組みは現在も行っているが、高齢化が進むと追いつかなくなると思う。国民健康保険制度そのものを国が見直す必要があるのではないかと感じている。

・山が荒れているという印象を受ける。美しい山、川は大都市には無い魅力なので、取り組みを考えてほしい。
（市長）現在名古屋で行われている COP10 でも「里山の保全」が議題としてあがっている。ただ、現在は山に入って手入れをする人がいない。国の事業があるかどうか確認しながら進めていきたい。

・生活基盤の項では市民の足についての施策が多かったが、情報インフラの整備についてはどう考えているか。また市から魅力を情報発信していくことが必要と考える。
（市長）行政が光ファイバの整備を進めているところもあるが、技術革新に追いつくことが難しいことや、NTT による整備の優先度が比較的高いことから民間活力による整備を進めている。情報発信についてはホームページを持って

いるが、多言語化などの課題がある。また魅力の一元化についてもできていない。今後の課題として取り組む。

・協働は大事な発想だと思う。どうやって具体的な組織づくり、場づくり、機会づくりを行うのか。

(市長) 役所が得意なところと市民が得意なところを分担してやっていくことが必要。

・ポイ捨てをなくすための取り組みとして、厳罰化を盛り込んだ条例の制定などはどうか。市の魅力のアピールポイントにもなると思う。

(市長) 規制する条例は「住みにくい」という印象を与えることと、条例の実効性(誰が取り締まるのか、罰則をどの程度にするのか等)を確保することが必要。まずは市民のモラルの問題なので啓発することからはじめたい。それでもポイ捨てがなくならないなら最後の手段として罰則を含めた条例制定になる。

・錦海塩田跡地の利用についてもう少し聞きたい。

・先日、雑談の中で錦海塩田跡地を「シルバータウン」化してはどうかという話があがった。老健施設の集合体を県産材の木造で作り、全国から入所者を募集すれば人が集まり、雇用が増えると思うがいかがか。

(市長) いろいろ具体的な提案をいただいている。例えば太陽光発電基地。世界一の規模になると見込まれるが、民間企業が設置する場合、市民の電気代が安くなるわけではない。以前提案をいただいた自衛隊の弾薬庫については、先日自衛隊の方に話を聞いたところ、弾薬庫は平地につくることができないので不可能とのこと。また、塩田跡地は地盤が弱く、建物を建てるにはその研究が必要。公共性、市民のために、という観点から評価して検討していきたい。また検討の場には市民にも入っていただきたい。

・市民活動応援補助金をはじめだったが、今年新たな団体の申請がいくつあったか。申請手続のための準備が非常に難しいと感じた。

(市長) 100団体を超える申請をいただいたが、新たな団体からの申請は48あった。今後申請手続の簡素化についても進めていきたいと思うが、税金が原資である以上、一定の形式が必要とも感じている。

・企業誘致について、具体的にどう考えているのか。

(市長) 豆田の工業団地があと6ヘクタールある。宅地があったりするが、確

実に誘致できる話が来た段階ですぐに立ち退き交渉などができるように準備をしている。またこの工業団地は農工地域に指定しており、固定資産税などの減免措置が受けられる。この土地を売らないと別の場所に農工地域の指定をすることが難しいのでまずはこの工業団地を売りたい。その後、ブルーライン沿線や南北道沿線への誘致が考えられる。

- ・ 自主防災組織は玉津地区のほとんどが結成していると思うが、結成後のフォローをしてほしい。

(市長) 12月に講演会を行う。また地域の防災に関する意識を高めるフォローをしていきたい。

- ・ 8月によくわからないサイレンが鳴ったが、説明がわかりにくかった。

(市長) 終戦記念日のサイレンが他の日にも鳴ってしまったという単純なミスだった。今後このようなことが起きないようにする。

- ・ 馬券売り場予定地のあたりにセイタカアワダチソウがたくさん生えている。どうなるのか。

(市長) 馬券売り場については話が宙に浮いていて、実現可能性は不確実。

- ・ 総合計画では学校の適正規模について検討、とあるが、「現状と課題」の部分で既に結論が出ているような記述になっている。

(市長) 小さい学校には小さい学校のよさがあるし、教育の工夫の余地もたくさんある。学校がなくなる、という風評で過疎化が加速することも考えられるので、安易に統廃合の方針を出すつもりは無い。